

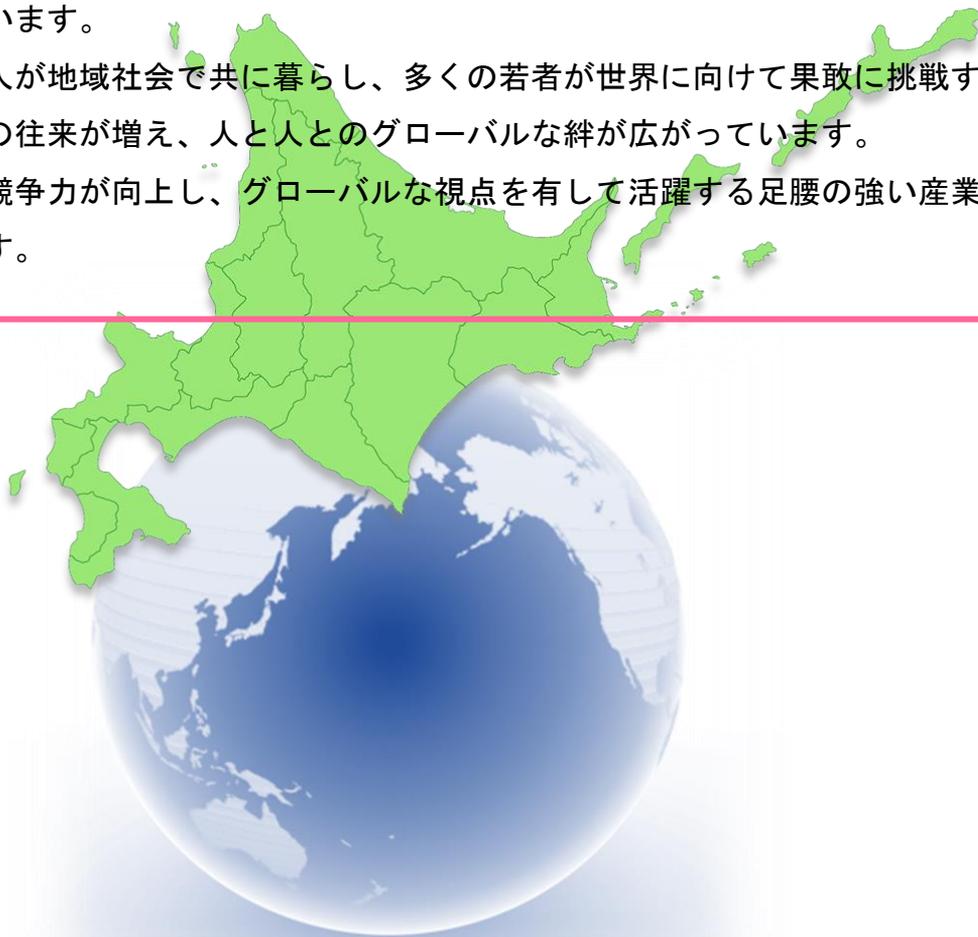
1 北海道のめざす姿

グローバル化に伴う様々な影響を考慮しながら、道内経済や地域社会の活性化を図るため、「世界の中の北海道」として本道が中長期的に進むべき将来の方向性を「めざす姿」として明らかにし、道内の行政、企業・団体、道民の皆様と共有します。

世界をより身近に、世界を舞台に活躍

将来の北海道のイメージ

- 豊かで安全・安心な食、雄大な自然をはじめ、独自に育んできたアイヌ文化や北海道発の多様なコンテンツなど、北海道の魅力が評価を受け、北海道ブランドが世界に浸透しています。
- 多くの外国人が地域社会で共に暮らし、多くの若者が世界に向けて果敢に挑戦するなど海外との往来が増え、人と人のグローバルな絆が広がっています。
- 本道の国際競争力が向上し、グローバルな視点を有して活躍する足腰の強い産業が育っています。



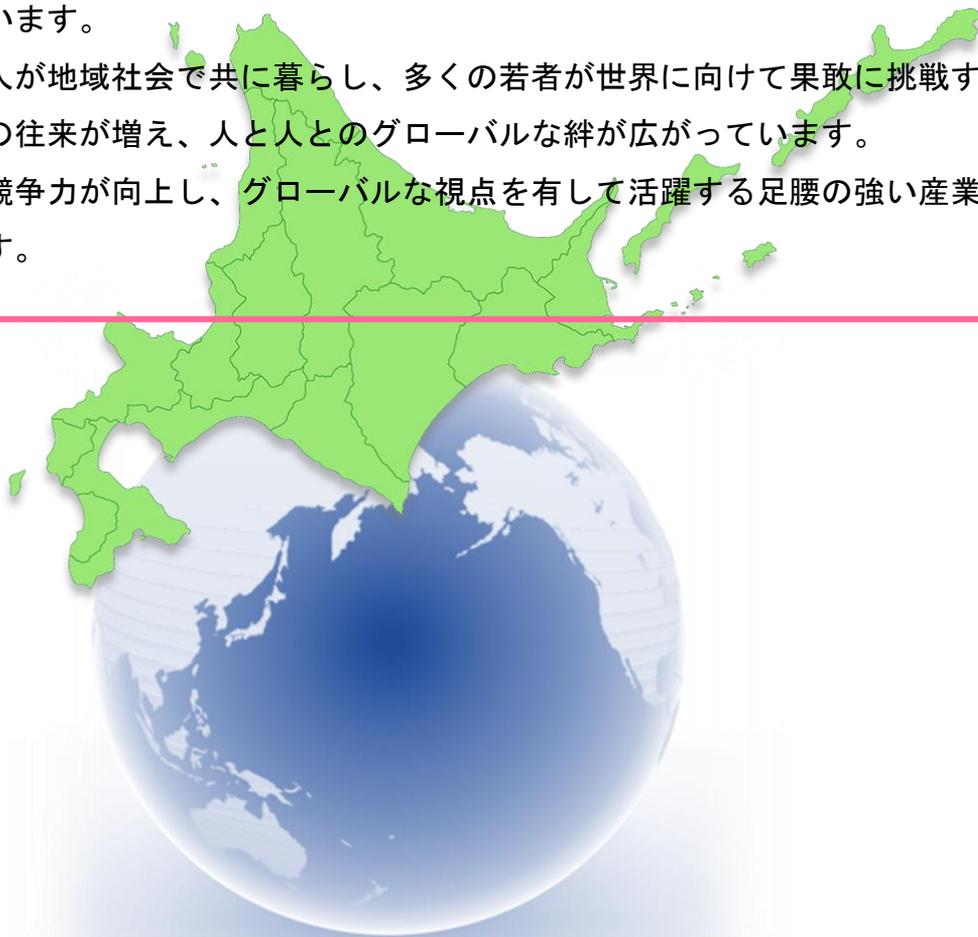
1 北海道のめざす姿

グローバル化に伴う様々な影響を考慮しながら、道内経済や地域社会の活性化を図るため、「世界の中の北海道」として本道が中長期的に進むべき将来の方向性を「めざす姿」として明らかにし、道内の行政、企業・団体、道民の皆様と共有します。

世界をより身近に、世界を舞台に活躍

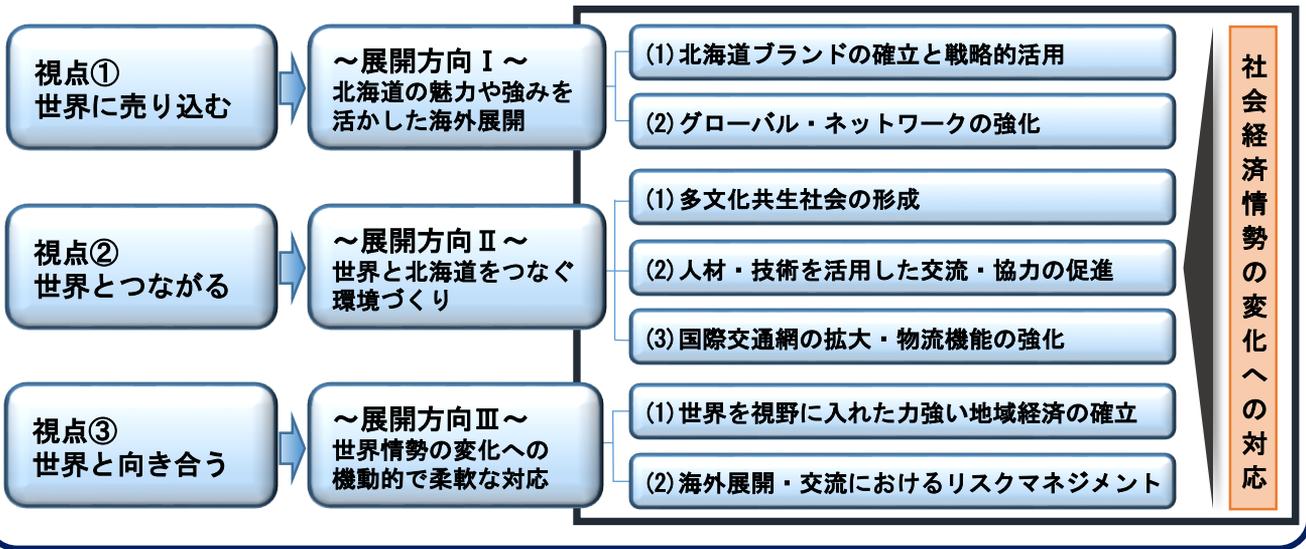
将来の北海道のイメージ

- 豊かで安全・安心な食、雄大な自然をはじめ、独自に育んできたアイヌ文化や北海道発の多様なコンテンツなど、北海道の魅力が評価を受け、北海道ブランドが世界に浸透しています。
- 多くの外国人が地域社会で共に暮らし、多くの若者が世界に向けて果敢に挑戦するなど海外との往来が増え、人と人のグローバルな絆が広がっています。
- 本道の国際競争力が向上し、グローバルな視点を有して活躍する足腰の強い産業が育っています。

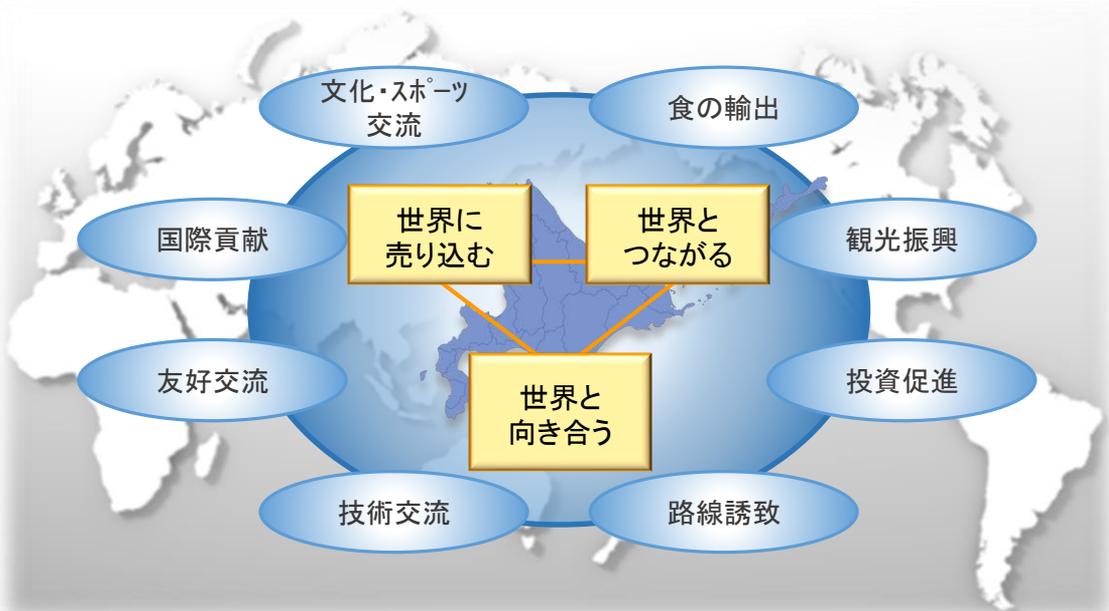


「めざす姿」の実現に向けて、「世界に売り込む」「世界とつながる」「世界と向き合う」の3つの視点に立ち、食の輸出や観光振興、投資促進、路線誘致、技術交流、友好交流、国際貢献、文化・スポーツ交流などグローバル化に対応した取組を、デジタル化の進展や脱炭素化といった社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ、ターゲットを明確化・重点化しながら、機動的かつ柔軟に推進します。

めざす姿の実現に向けた3つの視点と展開方向

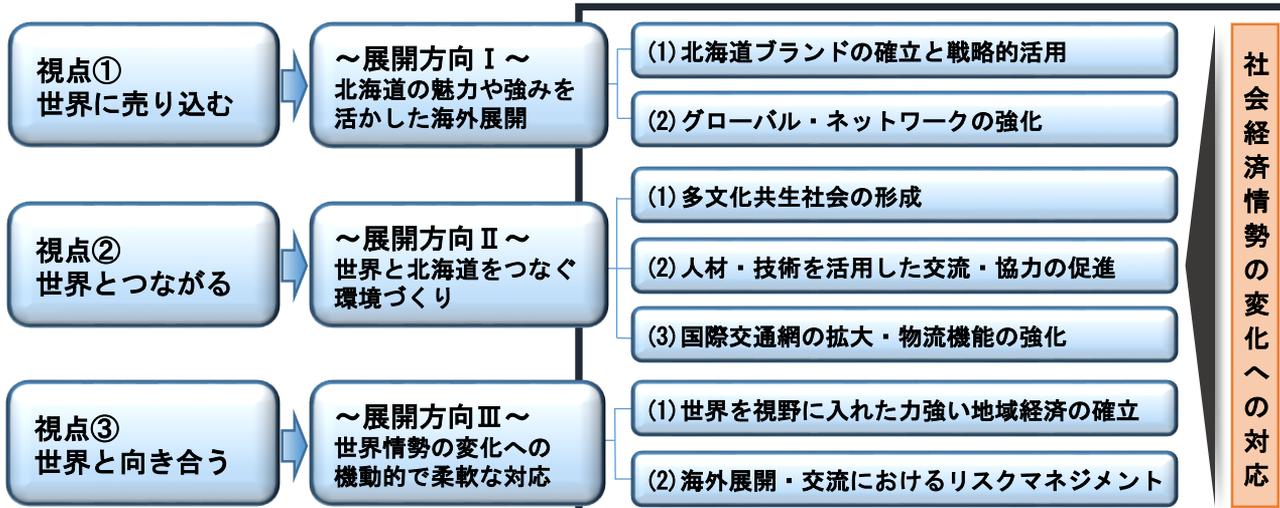


社会経済情勢の変化に対応し、
3つの視点に基づき、国際関連施策を総合的に推進

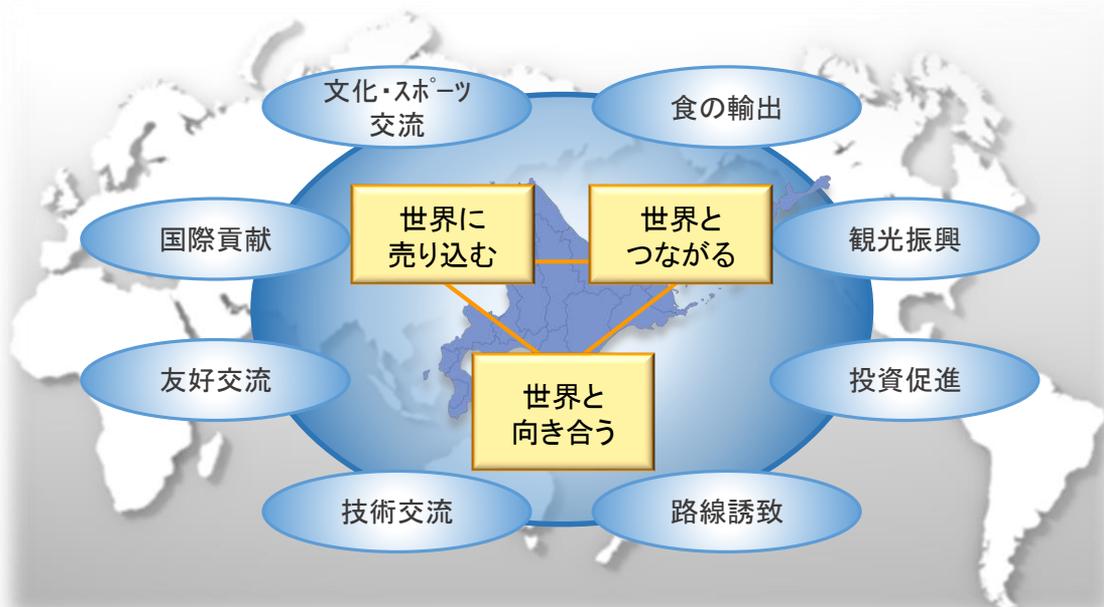


「めざす姿」の実現に向けて、「世界に売り込む」「世界とつながる」「世界と向き合う」の3つの視点に立ち、食の輸出や観光振興、投資促進、路線誘致、技術交流、友好交流、国際貢献、文化・スポーツ交流などグローバル化に対応した取組を、デジタル化の進展や脱炭素化といった社会経済情勢の変化に的確に対応しつつ、ターゲットを明確化・重点化しながら、機動的かつ柔軟に推進します。

めざす姿の実現に向けた3つの視点と展開方向



社会経済情勢の変化に対応し、
3つの視点に基づき、国際関連施策を総合的に推進



展開方向 I : 北海道の魅力や強みを活かした海外展開

取組の方向性

北海道の魅力や強みを活かし、海外の成長力や経験、ノウハウを取り込み、活力ある地域づくりにつなげる

(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用

背 景

- ・北海道の多様な魅力や強みは、世界に売り込む強力な武器
- ・一方で、グローバル化が進んだ現在、世界中がライバル
- ・世界のライバルと渡り合うため、北海道ブランドの確立と戦略的活用が必要

方向性

- オール北海道の視点による分野横断的な取組の展開
- 現地ニーズや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催といった国際的関心の高まりなどを踏まえた効果的なプロモーション
- 外からの視線を活かした地域資源の発掘と磨き上げ

社会・経済情勢の変化

- ・感染症の世界的な拡大に伴う外国人観光客の大幅な減少
- ・国際的なスポーツ大会や会議などの開催・活動の制限
- ・デジタル経済^{*25}の拡大
- ・**巣ごもり需要**など、人々の消費動向の変化
- ・先行きの不確実性などを起因とした消費・投資の手控えによる需要減

対応方向

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② ターゲットの明確化・重点化による北海道ブランドの海外展開
- ③ 安全・安心に配慮した、国際的イベントや投資等の誘致
- ④ 社会経済情勢、現地ニーズ等を踏まえ、デジタル技術等を活用した市場・需要開拓
- ⑤ 脱炭素化に向けた取組など、人々の行動変容や価値観の変化への対応



展開方向 I : 北海道の魅力や強みを活かした海外展開

取組の方向性

北海道の魅力や強みを活かし、海外の成長力や経験、ノウハウを取り込み、活力ある地域づくりにつなげる

(1) 北海道ブランドの確立と戦略的活用

背景

- ・北海道の多様な魅力や強みは、世界に売り込む強力な武器
- ・一方で、グローバル化が進んだ現在、世界中がライバル
- ・世界のライバルと渡り合うため、北海道ブランドの確立と戦略的活用が必要

方向性

- オール北海道の視点による分野横断的な取組の展開
- 現地ニーズや、**国際的なイベントや会議**の開催といった国際的関心の高まりなどを踏まえた効果的なプロモーション
- 外からの目線を活かした地域資源の発掘と磨き上げ

社会・経済情勢の変化

- ・感染症が世界的に拡大した場合の外国人観光客の大幅な減少
- ・国際的なスポーツ大会や会議などの開催・活動の制限
- ・デジタル経済^{*2}の拡大
- ・人々の消費動向の変化
- ・先行きの不確実性などを起因とした消費・投資の手控えによる需要減

対応方向

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② ターゲットの明確化・重点化による北海道ブランドの海外展開
- ③ 安全・安心に配慮した、国際的イベントや投資等の誘致
- ④ 社会経済情勢、現地ニーズ等を踏まえ、デジタル技術等を活用した市場・需要開拓
- ⑤ 脱炭素化に向けた取組など、人々の行動変容や価値観の変化への対応



- ◆ トップセールスによる本道の魅力セミナーなど、食、観光、文化などを組み合わせたショーケース化プロモーションの実施 <①>
- ◆ どさんこプラザ海外店の展開やHOKKAIDO LOVE! プロジェクト等、食や観光などの関係者が一体となった地域ブランディングの展開 <①>
- ◆ MaaS^{*26}等シームレス^{*27}交通の全道展開 <①>
- ◆ 食の高付加価値化、米や日本酒といった中期的な重点品目に加え、伸びしろが期待される魚種等、中国やASEANなどの輸出先国・地域の重点化などによる道産食品の輸出拡大 <②>
- ◆ 一人当たりの旅行消費額が高い欧米豪からのアドベンチャートラベル^{*28}の推進など、新たな観光価値の創出 <②>
- ◆ 食や自然・環境など本道の強み・特性を活かしたMICE^{*29}や投資の誘致推進 <③>
- ◆ MICE・IR^{*30}など新たなインバウンド等の取込方策の検討 <③>
- ◆ ゼロカーボンやデジタルトランスフォーメーション(DX)^{*31}といった社会経済環境の変化に対応した国内外からのデータセンター^{*32}等の企業誘致推進 <③・⑤>
- ◆ マーケットイン^{*33}による新たな市場展開、どさんこプラザ海外店などを活用した販路拡大 <④>
- ◆ 海外展開におけるECやオンライン商談など交流・ビジネス手段の多角化 <④>
- ◆ デジタル技術の対応力強化に向けた支援 <④>
- ◆ 巣ごもり需要など、人々の消費動向の変化への対応強化 <⑤>

<具体取組例>

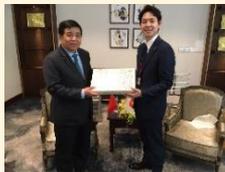
▶ ショーケース化プロモーション
～シンガポールでのトップセールス(2019.7)～

シンガポールを訪問し、「北海道観光セミナー」や「北海道食とワインのタベ」を開催し、本道へのインバウンドの促進や北海道の食の魅力をアピールするとともに、投資関係者などと幅広い分野でプロモーションを実施しました。



▶ 外国政府と強固な関係の構築
～ベトナムでのトップセールス(2020.1)～

ベトナムを訪問し、計画投資大臣と面談。2017年に締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、投資、貿易、人材育成などの交流を更に進めることなどについて確認しました。



▶ 海外からの投資誘致推進
～国とジェットロ事業を活用した投資の誘致(2019.6)～

本道の強みである観光分野をメインに、経済産業省とジェットロのRBC事業の採択を受け、シンガポールや香港などでのトップセールスや投資誘致セミナーを開催したほか、投資家を招聘し、投資案件の視察・意見交換などを実施しました。



▶ 地域ブランディングの展開
～HOKKAIDO LOVE! プロジェクト(2020.6)～

北海道観光振興機構などと連携し、オール北海道で観光関連産業等の前向きな取組を応援。北海道の魅力をSNS等で情報発信しています。

あなたの買する北海道をシェアしよう。



～どさんこプラザ海外店の展開～

海外アンテナショップとして、タイ1店舗、シンガポール2店舗を展開。海外における道産食品の販路拡大や北海道ブランドの発信拠点として、道内食品製造業者のマーケティング活動を支援しています。



～道産食品輸出塾(2019)～

香港、台湾に向けて輸出意欲が高い道内事業者が、輸出に関する情報やノウハウを習得し、自立的な海外販路開拓ができるよう、輸出手続きに必要な知識などの習得を支援しています。



- ◆ トップセールスによる本道の魅力セミナーなど、食、観光、文化などを組み合わせたショーケース化プロモーションの実施 <①>
- ◆ どさんこプラザ海外店の展開やHOKKAIDO LOVE! プロジェクト等、食や観光などの関係者が一体となった地域ブランディングの展開 <①>
- ◆ MaaS^{*23}等シームレス^{*24}交通の全道展開 <①>
- ◆ 食の高付加価値化、米や日本酒といった中期的な重点品目に加え、伸びしろが期待される魚種等、中国やASEANなどの輸出先国・地域の重点化などによる道産食品の輸出拡大 <②>
- ◆ 一人当たりの旅行消費額が高い欧米豪からのアドベンチャートラベル^{*25}の推進など、新たな観光価値の創出 <②>
- ◆ 食や自然・環境など本道の強み・特性を活かしたMICE^{*26}や投資の誘致推進 <③>
- ◆ MICE・IR^{*27}など新たなインバウンド等の取込方策の検討 <③>
- ◆ ゼロカーボンやデジタルトランスフォーメーション(DX)^{*28}といった社会経済環境の変化に対応した国内外からのデータセンター^{*29}等の企業誘致推進 <③・⑤>
- ◆ マーケットイン^{*30}による新たな市場展開、どさんこプラザ海外店などを活用した販路拡大 <④>
- ◆ 海外展開におけるECやオンライン商談など交流・ビジネス手段の多角化 <④>
- ◆ デジタル技術の対応力強化に向けた支援 <④>
- ◆ 人々の消費動向の変化への対応強化 <⑤>

<具体取組例>

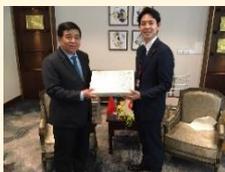
▶ ショーケース化プロモーション
～シンガポールでのトップセールス(2019.7)～

シンガポールを訪問し、「北海道観光セミナー」や「北海道食とワインのタベ」を開催し、本道へのインバウンドの促進や北海道の食の魅力アピールするとともに、投資関係者などと幅広い分野でプロモーションを実施しました。



▶ 外国政府と強固な関係の構築
～ベトナムでのトップセールス(2020.1)～

ベトナムを訪問し、計画投資大臣と面談。2017年に締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、投資、貿易、人材育成などの交流を更に進めることなどについて確認しました。



▶ 海外からの投資誘致推進
～国とジェットロ事業を活用した投資の誘致(2019.6)～

本道の強みである観光分野をメインに、経済産業省とジェットロのRBC事業の採択を受け、シンガポールや香港などでのトップセールスや投資誘致セミナーを開催したほか、投資家を招聘し、投資案件の視察・意見交換などを実施しました。



▶ 地域ブランディングの展開
～HOKKAIDO LOVE! プロジェクト(2020.6)～

北海道観光振興機構などと連携し、オール北海道で観光関連産業等の前向きな取組を応援。北海道の魅力やSNS等で情報発信しています。

あなたの買する北海道をシェアしよう。



～どさんこプラザ海外店の展開～

海外アンテナショップとして、タイ1店舗、シンガポール2店舗を展開。海外における道産食品の販路拡大や北海道ブランドの発信拠点として、道内食品製造業者のマーケティング活動を支援しています。



～道産食品輸出塾(2019)～

香港、台湾に向けて輸出意欲が高い道内事業者が、輸出に関する情報やノウハウを習得し、自立的な海外販路開拓ができるよう、輸出手続きに必要な知識などの習得を支援しています。



< >は展開方向 I の対応方向を記載

(2) グローバル・ネットワークの強化

背 景

- ・ 効果的・効率的な海外展開を図る上で、幅広い関係者の連携が重要
- ・ これまで蓄積されてきた道内外のネットワークは貴重な財産
- ・ 異分野・異業種など更なるネットワークの強化が必要

方向性

- 海外展開に取り組む企業間のネットワークの強化
- 道内の支援機関・団体のネットワークの強化
- 海外の企業や団体等のネットワークの強化

社会・経済情勢の変化

- ・ 渡航制限に伴う人的往来の途絶など、リスクの顕在化
- ・ デジタル化の推進に伴う交流スタイルの多様化

対応方向

- ① デジタル技術等を活用した新たな交流スタイルの確立
- ② グローバル・リスクを見据えた現地支援体制の基盤強化

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ デジタル技術の積極的な活用や、海外の北海道ファン、道の海外拠点等を通じた効果的な情報収集・発信 <①>
- ◆ クールHOKKAIDOネットワーク^{*34}の活用や外国政府等との強固な関係の構築 <②>

<具体取組例>

▶ 道の海外拠点等を通じた情報発信 ～海外事務所のホームページやSNS等を通じた 地域の魅力発信 (2021.10月時点)～

道上海事務所では中国語、ASEAN事務所では英語・タイ語、北海道・北東北三県ソウル事務所では韓国語、北海道サハリン事務所ではロシア語により、世界に向けて5カ国語で食や観光、文化の魅力など道内各地の幅広い情報を発信しています。



< >は展開方向 I の対応方向を記載

取組主体

- 行 政：北海道ブランドの効果的発信、ネットワーク強化を通じた海外展開への積極的なサポートなど
- 企業・団体：北海道ブランドを活かした海外展開、ネットワークへの参画と活用による分野横断的な展開など (NPO・大学等)
- 道 民：本道を取り巻く環境を踏まえた、海外との交流の重要性への理解の深化

(2) グローバル・ネットワークの強化

背景

- ・ 効果的・効率的な海外展開を図る上で、幅広い関係者の連携が重要
- ・ これまで蓄積されてきた道内外のネットワークは貴重な財産
- ・ 異分野・異業種など更なるネットワークの強化が必要

方向性

- 海外展開に取り組む企業間のネットワークの強化
- 道内の支援機関・団体のネットワークの強化
- 海外の企業や団体等のネットワークの強化

社会・経済情勢の変化

- ・ 渡航制限に伴う人的往来の途絶など、リスクの顕在化
- ・ デジタル化の推進に伴う交流スタイルの多様化

対応方向

- ① デジタル技術等を活用した新たな交流スタイルの確立
- ② グローバル・リスクを見据えた現地支援体制の基盤強化

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ デジタル技術の積極的な活用や、海外の北海道ファン、道の海外拠点等を通じた効果的な情報収集・発信 <①>
- ◆ クールHOKKAIDOネットワーク^{*3)}の活用や外国政府等との強固な関係の構築 <②>

<具体取組例>

▶ 道の海外拠点等を通じた情報発信 ～海外事務所のホームページやSNS等を通じた地域の魅力発信～

道上海事務所では中国語、ASEAN事務所では英語・タイ語、北海道・北東北三県ソウル事務所では韓国語により、世界に向けて食や観光、文化の魅力など道内各地の幅広い情報を発信しています。



< >は展開方向 I の対応方向を記載

取組主体

- 行政：北海道ブランドの効果的発信、ネットワーク強化を通じた海外展開への積極的なサポートなど
- 企業・団体：北海道ブランドを活かした海外展開、ネットワークへの参画と活用による分野横断的な展開など (NPO・大学等)
- 道民：本道を取り巻く環境を踏まえた、海外との交流の重要性への理解の深化

取組の方向性

多文化共生の推進、人材の育成、海外との交流拡大など、北海道が世界とより身近になるよう環境づくりに取り組む

(1) 多文化共生社会の形成

背 景

- ・暮らしの中で外国人と接する機会の増加
- ・互いの文化や生活習慣などを相互に理解・尊重し、地域社会の一員として共に生きていくという多文化共生推進の必要性の増大

方向性

- 多文化共生に向けた相互理解の促進
- 外国人にも暮らしやすい地域づくりの推進

社会・経済情勢の変化

- ・道内在住外国人の増加
- ・**コロナ禍において**、在住外国人が抱える生活上の課題などの多様化・複雑化

対応方向

- ① 生活環境や相談体制の充実等、地域社会の一員としての在住外国人の受入環境整備

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ 地域で暮らす外国人の文化・生活への理解の促進と支援<①>
- ◆ 相談体制の充実や地域の対応力の強化、適正な雇用・研修など、外国人が安心して働き、暮らせる環境づくり<①>

<具体取組例>

▶ 外国人が安心して暮らせる環境づくり
～外国人相談センターの設置・運営(2019.8～)～

道内在住の外国人からの在留手続きや、生活全般にわたる相談に、ワンストップで対応する窓口として2019年に開設した「北海道外国人相談センター」では、11言語以上での相談に対応するとともに、移動相談会の開催や、感染症対策等の情報を多言語で情報発信するなど、コロナ禍で複雑化・多様化する在住外国人からの相談に対し、きめ細かな対応に努めています。



< >は展開方向Ⅱの対応方向を記載

取組の方向性

多文化共生の推進、人材の育成、海外との交流拡大など、北海道が世界とより身近になるよう環境づくりに取り組む

(1) 多文化共生社会の形成

背景

- ・暮らしの中で外国人と接する機会の増加
- ・互いの文化や生活習慣などを相互に理解・尊重し、地域社会の一員として共に生きていくという多文化共生推進の必要性の増大

方向性

- 多文化共生に向けた相互理解の促進
- 外国人にも暮らしやすい地域づくりの推進

社会・経済情勢の変化

- ・道内在住外国人の増加
- ・在住外国人が抱える生活上の課題などの多様化・複雑化

対応方向

- ① 生活環境や相談体制の充実等、地域社会の一員としての在住外国人の受入環境整備

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ 地域で暮らす外国人の文化・生活への理解の促進と支援<①>
- ◆ 相談体制の充実や地域の対応力の強化、適正な雇用・研修など、外国人が安心して働き、暮らせる環境づくり<①>

<具体取組例>

▶ 外国人が安心して暮らせる環境づくり ～外国人相談センターの設置・運営（2019.8～）～

道内在住の外国人からの在留手続きや、生活全般にわたる相談に、ワンストップで対応する窓口として2019年に開設した「北海道外国人相談センター」では、11言語以上での相談に対応するとともに、移動相談会の開催や、感染症対策等の情報を多言語で情報発信するなど、コロナ禍で複雑化・多様化する在住外国人からの相談に対し、きめ細かな対応に努めています。



< >は展開方向Ⅱの対応方向を記載

(2) 人材・技術を活用した交流・協力の促進

現 行

背 景

- ・グローバル化に柔軟に対応できる人材ニーズの高まり
- ・世界的な人材の流動化の拡大
- ・持続可能な社会の実現に向けた世界的な気運の高まり

方向性

- 世界を舞台に活躍できる多様な人材づくり
- 海外の優秀な人材の活用など海外との人材交流の一層の推進
- 本道が有する技術・ノウハウを活用した世界への貢献

社会・経済情勢の変化

- ・「入管法」*^改改正に伴う特定技能制度の創設等を背景とした外国人材の受入拡大の動き
- ・感染症の拡大に伴う出入国制限など、海外との交流リスクの顕在化
- ・脱炭素化など危機感の共有による世界共通の課題解決への取組の動き
- ・SDGsの推進に向けた機運の高まり

対応方向

- ① 外国人に選ばれる本道の受入環境づくりの支援
- ② **ポストコロナに向けた**海外との持続可能な交流の推進
- ③ オリンピックなどを契機とした交流主体の多様化
- ④ 気候変動問題など世界共通の課題解決への貢献に向けた海外との交流の推進

取組イメージ

関連する主な
SDGsの目標



- ◆ 姉妹友好提携地域等との人的交流をはじめ、経済・文化・教育など地域特性に応じた交流の推進 <①>
- ◆ 大学と連携したグローバル人材の育成や、道内の若者の留学、海外研修等の支援 <①>
- ◆ 在住外国人ネットワークと連携した効果的なプロモーションなど、地域の担い手としての外国人留学生等の受入促進 <①>
- ◆ 企業へのセミナーやマッチングの実施など、外国人材定着のための取組の促進 <①>
- ◆ 海外との交流のためのコミュニケーション能力や情報リテラシーなどの向上に向けた支援 <①・②>
- ◆ Face-to-Face×デジタル技術の活用による多様な交流スタイルの確立 <②>
- ◆ オリンピック・パラリンピックなど、国際的なスポーツ、文化イベントを契機とした持続的な海外との交流の促進 <③>
- ◆ 環境技術等による課題解決型の交流・協力の推進 <④>
- ◆ 気候変動問題に関する各国・地域との知見の共有 <④>

<具体取組例>

▶ 海外との技術交流 ～道市連携海外展開事業（地域産業育成に係るアジア 展開プロジェクト）（2020.11）～

中国遼寧省・吉林省・黒竜江省の東北三省政府、バトナムホーチミン市政府やASEAN関係機関の協力のもと、現地企業と道内企業との環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流を中心に、セミナーやオンライン商談を展開しています。



▶ 外国人が安心して働き暮らせる環境づくり ～北海道で働き暮らす魅力をPRし、呼び込む （2020.10～）～

国内外にいる外国人を対象に、北海道で働き、暮らす魅力をPRするコンテンツとして北海道内で働く外国人とその上司などを取材し、動画を作成、道庁のYouTubeアカウントにて配信しています。



背景

- ・グローバル化に柔軟に対応できる人材ニーズの高まり
- ・世界的な人材の流動化の拡大
- ・持続可能な社会の実現に向けた世界的な気運の高まり

方向性

- 世界を舞台に活躍できる多様な人材づくり
- 海外の優秀な人材の活用など海外との人材交流の一層の推進
- 本道が有する技術・ノウハウを活用した世界への貢献

社会・経済情勢の変化

- ・「入管法」*改正に伴う特定技能制度の創設等を背景とした外国人材の受入拡大の動き
- ・感染症の拡大に伴う出入国制限など、海外との交流リスクの顕在化
- ・脱炭素化など危機感の共有による世界共通の課題解決への取組の動き
- ・SDGsの推進に向けた機運の高まり

対応方向

- ① 外国人に選ばれる本道の受入環境づくりの支援
- ② 海外との持続可能な交流の推進
- ③ オリンピックなどを契機とした交流主体の多様化
- ④ 気候変動問題など世界共通の課題解決への貢献に向けた海外との交流の推進

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ 姉妹友好提携地域等との人的交流をはじめ、経済・文化・教育など地域特性に応じた交流の推進 <①>
- ◆ 大学等と連携したグローバル人材の育成や、道内の若者の留学、海外研修等の支援 <①>
- ◆ 在住外国人ネットワークと連携した効果的なプロモーションなど、地域の担い手としての外国人留学生等の受入促進 <①>
- ◆ 企業へのセミナーやマッチングの実施など、外国人材定着のための取組の促進 <①>
- ◆ 海外との交流のためのコミュニケーション能力や情報リテラシーなどの向上に向けた支援 <①・②>
- ◆ Face-to-Face × デジタル技術の活用による多様な交流スタイルの確立 <②>
- ◆ オリンピック・パラリンピックなど、国際的なスポーツ、文化イベントを契機とした持続的な海外との交流の促進 <③>
- ◆ 環境技術等による課題解決型の交流・協力の推進 <④>
- ◆ 気候変動問題に関する各国・地域との知見の共有 <④>

<具体取組例>

▶ 海外との技術交流

～道市連携海外展開事業（地域産業育成に係るアジア展開プロジェクト）（2020.11）～

中国遼寧省・吉林省・黒竜江省の東北三省政府、ベトナムホーチミン市政府やASEAN関係機関の協力のもと、現地企業と道内企業との環境技術・高齢福祉・DX等の分野に係る技術交流を中心に、セミナーやオンライン商談を展開しています。



▶ 外国人が安心して働き暮らせる環境づくり

～北海道で働き暮らす魅力をPRし、呼び込む（2020.10～）～

国内外にいる外国人を対象に、北海道で働き、暮らす魅力をPRするコンテンツとして北海道内で働く外国人とその上司などを取材し、動画を作成、道庁のYouTubeアカウントにて配信しています。



▶ JICAとの包括連携協定（2022.2締結）

～世界と北海道をつなぐ環境づくり～

「多文化共生の推進」「SDGsの理解促進」「グローバル人材の育成・確保」などに連携して取り組み、グローバル化に対応した北海道の発展を目指します。

▶ 脱炭素社会の未来を拓く北海道・札幌宣言（2023.4.15）

G7気候・エネルギー・環境大臣会合の札幌開催を機に、北海道及び札幌市が、地域特性を活かし、エネルギーの地産地消と道内経済の活性化はもとより、我が国及び世界のグリーン・トランスフォーメーション(GX)に貢献していくことを世界に発信しました。

背 景

- ・アジアをはじめとする北海道人気の高まり
- ・地方自治体や企業の海外展開・交流の活発化

方向性

- 国際航空路線等の更なる拡大
- 国際物流網の充実・強化

社会・経済情勢の変化

- 感染症の世界的な拡大に伴う
- ・インバウンド需要の消失
 - ・国際航空定期便の運休長期化や航空貨物輸送能力の低下
 - ・クルーズ船の運航中止 などのリスクの顕在化

対応方向

- ① リスク分散と新たな需要獲得に向けた交通・物流ネットワークの充実

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ トップセールス等による国際航空路線、クルーズ船の誘致<①>
- ◆ 道産品の輸出拡大に向けた効率的な物流網の構築<①>
- ◆ 国際旅客便の再開や未就航路線の誘致など航空ネットワークの充実・強化 <①>

<具体取組例>

▶ 国際航空路線の誘致

～ベトナムでのトップセールス(2020.1)～

経済団体とともにベトナムを訪問し、ベトナム観光総局との間で、観光プロモーションや情報発信、直行便就航に向けた相互協力などについて「観光振興に関する協力の覚書」を締結したほか、ベトジェットエア及びベトナム航空を訪問し、直行便就航に向けたトップセールスを実施しました。



< >は展開方向Ⅱの対応方向を記載

取組主体

- 行 政：多文化共生社会の実現に向けた普及啓発の推進、北海道と世界をつなぐ多様な交流の推進、インフラ面の環境整備
- 企業・団体：海外で活躍する人材の育成、海外の優秀な人材の活用、本道独自の技術(NPO・大学等)を用いた交流・協力の推進
- 道 民：多様な文化や生活習慣への理解の促進と交流活動への参加

(3) 国際交通網の拡大・物流機能の強化

素案

背景

- ・アジアをはじめとする北海道人気の高まり
- ・地方自治体や企業の海外展開・交流の活発化

方向性

- 国際航空路線等の更なる拡大
- 国際物流網の充実・強化

社会・経済情勢の変化

感染症の世界的な拡大やロシアによるウクライナ侵略等の社会経済情勢の変化に伴う

- ・インバウンド需要の消失
- ・国際航空定期便の運休長期化や航空貨物輸送能力の低下
- ・クルーズ船の運航中止 などのリスクの顕在化

対応方向

- ① リスク分散と新たな需要獲得に向けた交通・物流ネットワークの充実

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ トップセールス等による国際航空路線、クルーズ船の誘致<①>
- ◆ 道産品の輸出拡大に向けた効率的な物流網の構築<①>
- ◆ 国際旅客便の再開や未就航路線の誘致など航空ネットワークの充実・強化 <①>

<具体取組例>

▶ 国際航空路線の誘致

～ベトナムでのトップセールス(2020.1)～

経済団体とともにベトナムを訪問し、ベトナム観光総局との間で、観光プロモーションや情報発信、直行便就航に向けた相互協力などについて「観光振興に関する協力の覚書」を締結したほか、ベトジェットエア及びベトナム航空を訪問し、直行便就航に向けたトップセールスを実施しました。



< >は展開方向Ⅱの対応方向を記載

取組主体

- 行 政：多文化共生社会の実現に向けた普及啓発の推進、北海道と世界をつなぐ多様な交流の推進、インフラ面の環境整備
- 企業・団体：海外で活躍する人材の育成、海外の優秀な人材の活用、本道独自の技術(NPO・大学等)を用いた交流・協力の推進
- 道 民：多様な文化や生活習慣への理解の促進と交流活動への参加

取組の方向性

世界の経験やノウハウを学び、取り込みながら、本道の国際競争力やリスクマネジメント力の向上を図り、大きく変化する世界情勢に機動的かつ柔軟に対応する

(1) 世界を視野に入れた力強い地域経済の確立

背景

- ・ グローバル化が地域経済に密接に関わる中、**世界**情勢の変化が本道にダイレクトに影響
- ・ グローバル化に的確に対応するためには、地域の資源を最大限活用し、絶え間ないイノベーションに取り組むことが必要

方向性

- 本道産業の国際競争力の強化
- 力強い農林水産業づくりの推進
- 地域産業の付加価値の向上、ものづくり力の強化など

社会・経済情勢の変化

- ・ 国内回帰も含めたサプライチェーン^{*36}再配置の動き
- ・ **T P P 11協定**や日EU・E P Aの発効など、経済連携の拡大
- ・ 国際経済活動における共通価値への関心の高まり
- ・ グリーン社会の実現という経済構造転換に向けた取組の加速化
- ・ 気候変動や経済摩擦による輸入原料等の調達リスクの顕在化

対応方向

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② **ポストコロナ**を見据えた新たな社会経済の変化への対応強化
- ③ S D G s など世界共通の課題解決に向けた取組と経済的な価値の創造
- ④ 本道の農林水産業の持続的な発展に向けたグローバル・リスクへの対応強化

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



- ◆ 地域資源を活用した新商品の開発、ものづくり企業の技術力向上 <①>
- ◆ 国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化 <①>
- ◆ 海外展開におけるデジタル技術を活用した交流・ビジネス手段の多角化 <②>
- ◆ サプライチェーンの再編を重視した企業の生産拠点の移転等の対応を支援 <②>
- ◆ S D G s や E S G 投資^{*37}に取り組む海外企業からの投資促進 <③>
- ◆ 生産基盤の整備・経営安定対策の充実 <④>
- ◆ 原材料等の自給率の向上など、生産基盤の強化 <④>

< >は展開方向Ⅲの対応方向を記載

取組の方向性

世界の経験やノウハウを学び、取り込みながら、本道の国際競争力やリスクマネジメント力の向上を図り、大きく変化する世界情勢に機動的かつ柔軟に対応する

(1) 世界を視野に入れた力強い地域経済の確立

背景

- ・グローバル化が地域経済に密接に関わる中、**国際情勢**の変化が本道にダイレクトに影響
- ・グローバル化に的確に対応するためには、地域の資源を最大限活用し、絶え間ないイノベーションに取り組むことが必要
- ・**ロシアによるウクライナ侵略など、これまでの想定を超える大きな国際情勢の変化により道民の暮らしや経済に大きな影響**

社会・経済情勢の変化

- ・国内回帰も含めたサプライチェーン^{*33}再配置の動き
- ・**CPTPP**や日EU・EPAの発効など、経済連携の拡大
- ・国際経済活動における共通価値への関心の高まり
- ・グリーン社会の実現という経済構造転換に向けた取組の加速化
- ・気候変動や経済摩擦による輸入原料等の調達リスクの顕在化
- ・**ロシアによるウクライナ侵略や東アジアにおける緊張の高まりなど**

方向性

- 本道産業の国際競争力の強化
- 力強い農林水産業づくりの推進
- 地域産業の付加価値の向上、ものづくり力の強化
- **グローバル・リスクに対応した施策の推進**

対応方向

調整中

- ① 潜在力や競争力を有する食や自然、観光などの分野における価値の更なる磨き上げ
- ② **未来**を見据えた新たな社会経済の変化への対応強化
- ③ SDGsなど世界共通の課題解決に向けた取組と経済的な価値の創造
- ④ 本道の農林水産業の持続的な発展に向けたグローバル・リスクへの対応強化

取組イメージ

関連する主なSDGsの目標



調整中

- ◆ 地域資源を活用した新商品の開発、ものづくり企業の技術力向上<①>
- ◆ 国際認証等の導入促進など、国際競争力の一層の強化<①>
- ◆ 海外展開におけるデジタル技術を活用した交流・ビジネス手段の多角化<②>
- ◆ サプライチェーンの再編を重視した企業の生産拠点の移転等の対応を支援<②>
- ◆ SDGsやESG投資^{*34}に取り組む海外企業からの投資促進<③>
- ◆ 生産基盤の整備・経営安定対策の充実<④>
- ◆ 原材料等の自給率の向上など、生産基盤の強化<④>
- ◆ **新たな海外展開地域の開拓や誘客の多角化によるリスク分散<④>**